

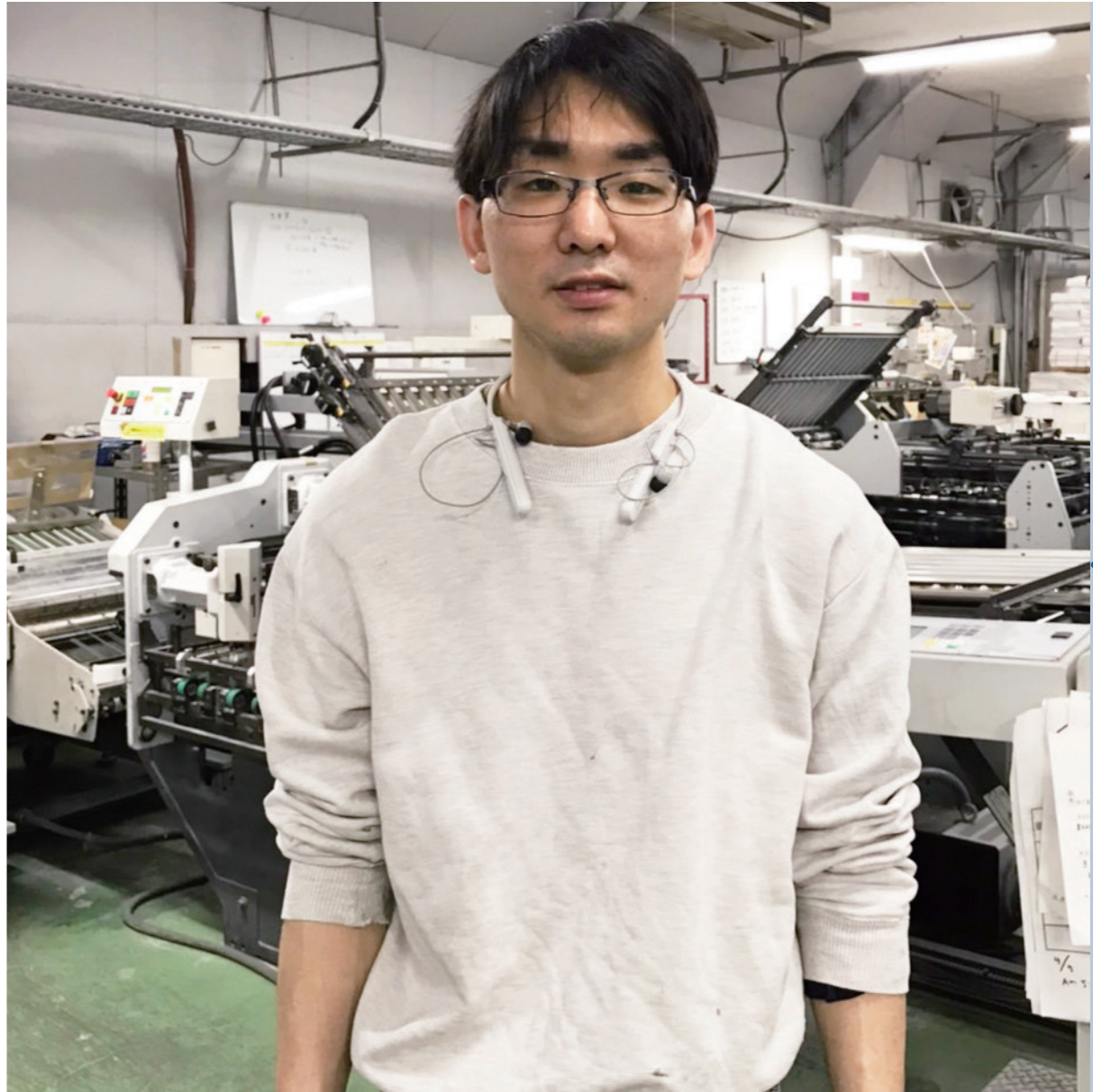
チム九

印刷を支え加工を活かす

西 洸 樹

無線綴じ部門

旭紙工株式会社の西洸樹さんは、2012年4月に新卒で入社し、無線綴じ部門で夜勤をされています。部署メンバーの入れ替わりも多中で10年間続けられた職場の魅力やコツを伺いました。西さんの素顔に迫ります。



まずは現在の業務内容について教えてください。

三方断裁機セットを主にしながら、ラインが回っているときは完成品のパレットや加工前の刷本の上げ下ろしなどに従事しています。その他、無線綴機を含む諸々セットや品質管理も行っています。夜勤対応のため、20時半頃に出社し翌朝10時頃に退勤という生活スタイルです。年間を通じて有難いことに忙しい状況ですが、特に9〜3月頃はカレンダー1作成もあり会社の繁忙期とも重なるため忙しさも一入です。



自らも会社や職場の仲間のために、自身の力を存分に発揮していくに違いありません。



——ご入社のきっかけは何でしょうか。

読書が好きで子どもの頃から色々読んできました。高校3年になり就職先を探す中で当社が二次募集をかけていることを知り、本繋がりでの興味を持ち応募したことがきっかけです。今でも時間があれば色々な推理小説を読んで過ごしています。

——約10年にわたり無線綴じ部門で仕事を継続できた最大の要因は何ですか。

物覚えが悪く失敗も多かった私を厳しく叱りながらもしっかりとフォロー



ローしてくれた先輩方のお陰で今があると思っており、非常に感謝しています。仕事は1人で成長することはできず、周囲の支えなくしてはここまで続けることはできませんでした。雑談をしながら進める職場ではありませんが、4〜5名のメンバーで互いに指示のやり取りを的確に行い業務効率化を図っています。

——最大の失敗体験について教えてください。

入社1年目で折の検品を任せられたとき、本文のズレに気付かず1種類全て折り上げてしまい紙を駄目にしてしまいました。

てしまいました。まだ折の機械のことはほとんど何も分からない状態ではありましたが、折りが上がった本文をしっかりと検品していればすぐに気付ける失敗。先輩から本文の頭出し確認OKをもらったことで全てOKと勘違いし、何の疑いも抱かず中間確認をせずに全てを折ってしまいました。このミスを反省して、それ以降は頭出し確認と中間確認をしっかりするよう留意しています。

——仕事をする上でのこだわりはどんな部分でしょうか。

何事にも時間配分を決めて、決めたことは時間内に終わらせるように時間管理をしています。勿論なかなか思い通りにいかないこともあり、予期せぬ出来事による失敗もこれまでも多く経験しました。その都度で見直しと調整を図り、振り返りしながら改善に努めることで成長に繋がることもあるのではないのでしょうか。

長年にわたり、継続して一つの仕事と向き合ってきた西さん。これが



企業情報

- ◆ 創立年：1983年1月
- ※ 創業：1963年
- ◆ 年商：14億円
- ◆ 従業員数：200人

※ 2022年2月実績

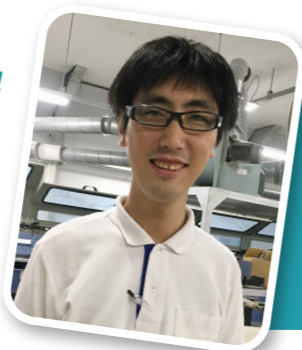
設備紹介

—東京出版機械貼り込み機（4駒）—



私が紹介します!

当社で活躍する設備をフィーチャーし、その役割や歴史を紹介する人気企画。今回は、付録のある本や分厚い本の製本に必要な貼り込み機を特集します!意外な「あるもの」に注意しながら使う様子を、本社工場の有松さんに伺いました!



ありまつ けんじ
有松 健二さん
工場本部 本社工場長

付録のある本や、
分厚い本の
製本に必須!

Q.設備の概要を教えてください!

貼り込み機には、2つの用途があります。1つ目は、はがきのついている通販雑誌や、地図がついている本など、本に付録がついている場合。製本の前工程として付録を本文にのりづけする役割を担い、次の製本工程を可能にします。2つ目は、2~3つの本文をまとめる場合です。当社の製本設備ではオーバーしてしまうようなページ数の本を作る際にも活躍。つまり、分厚い本の製本にも貢献しています。ちなみに、当社では右に流れる機械と左に流れる機械を1台ずつ、合計2台持っています!

Q.設備はいつ導入されましたか?

片方の機械は、30年ほど前から稼働しているようです。実は、私が入社する前から活躍している大ベテランなので、正式な年月は調べてみないとわかりません(笑)貼り込み機の中では比較的新しい設備ですが、やはり他の機械と比べると古いと感じます。

長く活躍する
実力者

のりは難しい!
~プロしか使えない
貼り込み機~



Q.取り扱うために資格や免許は必要ですか?

特別な資格や免許は、必要ありません。ただのりを使うので、扱いは難しいと思います。なんと、当社で使用できるのは、本社と瓜破工場を合わせても3~4人ほどしかいません!中でも、当社では1人のエキスパートに取り扱いを任せています。無論使い方を学ぶには、専門家の皆さんから教えてもらう他ありません。指導と訓練を積み重ね、扱える人員を増やそうと考えています。

やはり、
のりの扱いに
要注意!

Q.使用上での注意点はありますか?

とにかく「のり」に気をつけることが大切です。のりが機械に付着したり、本の四隅についてしまったりしないよう、心がけています。また、のりにもいろんな種類があるので、使い分けにも要注意。実は普通の「のり」の他に、1回接着しても再び剥がせる「剥離のり」があります。しかし、のりと剥離のりを間違えたり、剥離のりの量が多すぎたり、圧をかけすぎたりすると、剥離の効果がなくなることも……。返信用封筒などでは、「剥がす」機能もとても大切です。剥離できなくなると全て弁償となり、大惨事となります。



使い手を
増やしたい!

Q.今後の目標を教えてください!

貼り込みは、無線綴じという製本方法には必要な工程です。よって、扱える方が少ないことが課題。とりわけ、メインで行っているオペレーターはカレンダーの重要人物でもあるので、使える人数を増やすのはとても重要です。若手にしっかり教育し、使い方を覚えていただけるように頑張りたいと思います。

成功の方程式

「人生や仕事の結果は、考え方と熱意と能力の3つの要素の掛け算で決まります。このうち能力と熱意は、それぞれ0点から100点まであり、これが積で掛かるので、能力を鼻にかけ努力を怠った人よりは、自分には普通能力しかないと思って誰よりも努力した人のほうが、はるかに素晴らしい結果を残すことができます。これに考え方が掛かります。考え方とは生きる姿勢であり、マイナス100点からプラス100点まであります。考え方次第で人生や仕事の結果は180度変わってくるのです。」

(※稲盛和夫 京セラフィロソフィより引用)

人生・仕事の結果

＝ **能力** × **熱意** × **考え方**

これは、京セラ株式会社名誉会長の稲盛和夫さんが提唱している「成功の方程式」です。稲盛さんは、「人間として何が正しいのか」「人間は何のために生きるのか」という根本的な問いに真正面から向かい合い、それを「京セラフィロソフィ」という経営哲学としてまとめているのですが、この「成功の方程式」は「京セラフィロソフィ」の中核を担っている考え方です。



ネージャーが成果を最大化するためには？

中には、周囲のメンバーと比べて、思考力の低さや、論理性の乏しさを感じ、悩んでいるメンバーもいるかもしれません。それらの能力はなかなか後天的に身につかず、努力を重ねても実を結びづらいものでしょう。そのような悩みを持っているのであれば、ぜひ熱意と、考え方を向上させる努力をしてみてください。また、マネージャーは、決して「部下の能力が低い」と嘆いたり、部下に対して「君の能力が低いのが原因だ」と決めつけたりしてはなりません。なぜならばこの発言自体が、部下の熱意を失わせかねないからです。マネージャーが自身の管掌範囲の成果を最大化したいのであれば、部下の「熱意」と「考え方」を向上させることに最優先に取り組むべきです。とりわけ「考え方」は、マイナスにも振れる恐れのあるものです。最重要項目と言えるでしょう。

「考え方」に対して、「自分は元来ネガティブだから……」と先天的なものとして諦めてしまっている人もいるかもしれません。ただし、毎日「強く」「何度も」前向きに考え続けることで、思考の仕方そのものが変化していきます。是非参考にしてみてください。

Let's try! お手軽! 表情筋エクササイズ

相手に好印象を与えられるような、おススメの表情筋エクササイズをご紹介します。

目力のアップに効果的です!

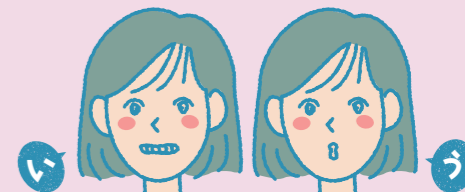
ムンクの顔



- 1 口を「お」の形にして、顔を縦に伸ばす。
- 2 視線を天井にあげ、まぶしいものを見るように、下まぶたを上を持ち上げる。これをゆっくり5回ほど繰り返す。

顔全体を動かし表情筋に刺激を与えましょう!

あいうえおの顔



- 1 口を大きく開き、「あ」の形に
- 2 口を真横に引きのばし「い」の形に
- 3 口をすぼめて突き出し「う」の形に
- 4 笑顔で口角を上げて「え」の形に
- 5 口を大きく開き、鼻の下を伸ばして「お」の形に ※それぞれ5秒程度行う